

キャリア教育だより

発行元:相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和8年2月発行 No.5



研究推進事業「キャリア教育の推進」

田名中学校・田名小学校・田名北小学校の取組

昨年度から研究推進事業委託校として、田名中学校区の3校(田名中学校・田名小学校・田名北小学校)が、「キャリア教育の推進」に係る研究に取り組んでいます。今年度は研究2年目ということで、昨年度の取組を土台にしながら、さらなる積み上げがなされています。そんな田名中学校区の取組について紹介いたします。

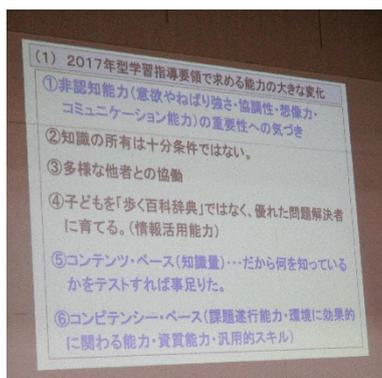
研究主題

「自ら考え行動できる児童・生徒」「人の気持ちを理解し、助け合うことのできる児童・生徒」を育む教育活動の展開



研究主題を受け、3校で連携して作成した「田名中学校区の児童・生徒がめざす姿」になります。発達段階に応じて、めざす姿が具体化されていることや小学校・中学校だけでなく、幼保小中連携を踏まえ、保育園・幼稚園における姿も明示したことがポイントです。

元立正大学非常勤講師 清水隆彦先生を講師としてお招きし、「キャリア教育の視点による授業」についてご講演いただきました。(第1回・第3回小中一貫の日より)

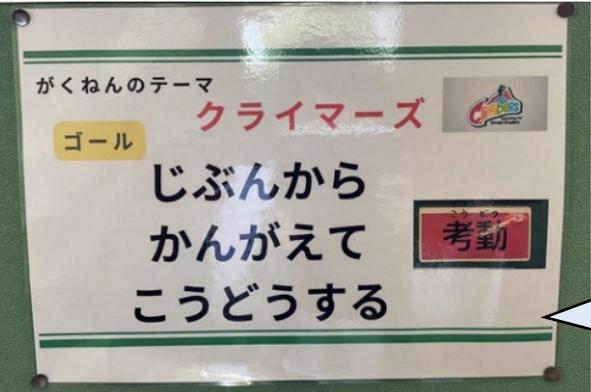


「キャリア教育の視点による授業の展開」や「小中のつながりをどう意識するか」という視点で協議を行いました。(第1回小中一貫の日より)



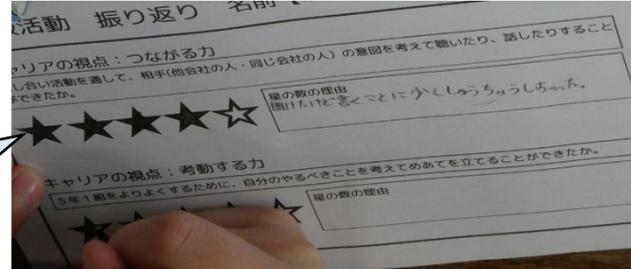
キャリア教育を通じて育成したい力について、カードを用いて授業の課題や児童生徒の発言と関連付けたり、価値付けたりします。

キャリア教育の年間計画を学年毎に作成するとともに、教室や廊下に掲示して児童と共有し、見通しをもって学習したり、様々な活動をキャリアの視点でつないだりします。



各学年のテーマを設定する際も、キャリアの力を踏まえたものにすることで、児童が様々な活動に取り組む場面や振り返る場面等においても、キャリアの力を意識することができます。

学級活動の振り返りカードに、キャリアの視点を踏まえた項目を設定することで、児童生徒が自己の変容を具体的に捉え、成長を実感することにつながります。



(2) 本時で身につけたい基礎的・汎用的能力

【乗り越える力】

キャリア教育の【乗り越える力】の視点から、蒙古襲来(元寇)によって鎌倉幕府の封建制度にどのような問題が生じたのかを把握し、幕府の幹部と御家人のそれぞれの立場から多面的・多角的に考察することで本時のねらいにせまれるようにしたい。

それを実現するために、既習事項である鎌倉幕府の仕組みや、元寇の様子がわかる史料を活用して自分の考えを説明、論述できるようにしたい。具体的には、①個人で予想し、②4人班で話し合い、③最終的に自分の考えを論述することを実践したい。

キャリア教育全体計画における1学年の発達課題の「乗り越える力」は「自分の課題に対し積極的に粘り強く取り組むことができる」である。本時の授業は、①～③の活動を通して1つの課題に向き合い、何度も取り組む姿勢が求められることから、この課題の達成に向けた活動の一環であると考えられる。

また、こうした社会科の授業を通して、多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する力を身に付けていくことが、キャリア教育の視点からも期待される。

校内研究等で公開する授業の指導案を作成するにあたり、教科の特性を踏まえた上で、キャリアの視点で育成すべき基礎的・汎用的能力や単元で学習する内容との関連を明確に示し、単元の中での指導について、育みたい力とそれを発揮する場面を具体的に意識して指導にあたるようにしています。

令和8年1月19日(月)に、文部科学省・経済産業省・厚生労働省が共同開催した「令和7年度キャリア教育推進連携シンポジウム」において、田名中学校区の3校が「文部科学大臣表彰」を受けました。この表彰は、「キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた学校等を表彰する」ものです。

田名中学校区の実践は、「3校が共通の意識で取り組んでいること」と「それぞれの学校が自校のよさを引き出しながら取り組んでいること」が特徴の1つといえます。キャリア教育を推進するにあたり、学ぶべきところの多い研究です。今後とも田名中学校区の取組にご注目ください。

